

スクールカウンセラーからのおたより

春めいて来ました。一面の菜の花、梅に桜と、花のたよりが続きます。このやわらかな季節のうちに新しい学年に向かう元気、養ってくださいね。

最近 AI（人工知能）の話題がしきりに聞かれます。身近なスマホはもちろんのこと、藤井 7 段が活躍する将棋でも AI が名人に勝ってしまう。人間の目では見つけられない病気の診断ができ、自動運転が開発され、おしゃべりするロボットができたり。人口減少、人手不足が心配される現代社会で歓迎され、開発が進んでいくようです。一方、2040 年代、人間の仕事のほとんどは AI でできるなどと言われて不安にもなってきました。便利にはなっても、人間には何もすることがなくなるのでしょうか？暮らすお金はどうかせぐ？人間はどう生きる？ AI は計算機。データがあればいくらでも再現でき、その中から新しい組み合わせを作り出すことはできる。考えていて、ふと思いました。と言うことは、データのないもの、これまでにないものは再現も組み合わせもできないのではないかと。「～みたいな」とか「～風」とかではない新しいひらめきから、予期せぬ失敗から、まったく別の物を「生み出す」ことが。また、AI は今や文章も書けるそうです。でも、文章を読むことはできないと言うのです。単語の 1 つ 1 つは知っていても、その組み合わせで表現される「意味」とか「伝えたい気持ち」はわからない。人と出会い、好きになったり、ケンカしたり仲直りしたり。データにない「何か」を感じ取ったり、相談したり支え合ったり。そういう力は人間の大切な能力だと思ってちょっと安心しました。

これから生きていく皆さんにみがいてほしい力がそこにあります。便利に「機械にしてもらおう」ばかりでなく、「自分で考えて、しよう」とすること。できごとに直面して、感じたり考えたり、乗り越えていく経験。自分の思いを言葉にして、人に伝えようとする。それが将来のあなたの生きがいにつながっていくのではないのでしょうか。

この春休み、スマホをちょっと置いて、AI にできない読書、試してみませんか？



スクールカウンセラー